

図3-4 交差よりロープのストランド断面例

素線の配置には、1本の心線の周りに素線を6本、12本、18本、24本と等差級数的に6本ずつ各層ごとに増加する方法と、素線3本をより合わせたものを心にして、その周りに9本、15本と6本ずつ各層ごとに増加する方法とがあります。通常は前者の配置が圧倒的に多く、後者は中心の3本よりを繊維心(小心と呼称)に替えた6×24ストランド( $a + 9 + 15$ )に、その片鱗がうかがわれるに過ぎません。

## ② 平行より

平行よりは、Parallel Lay 又はEqual Lay と呼ばれ、またストランディングの工程数からOne Operation Lay, 更に各素線の接触状態から線接触より(Linear Contact Lay) と呼ばれています。

なお、当社では平行よりロープをスーパーロープという商品名で呼んでいます。

平行よりは、ストランドの下層素線の谷間に上層素線が正しく重なるよう、各層素線をすき間なく配置させるために、それぞれ異なる径の素線を同時によったもので、各層素線は同一のより長さになって、線接触状態を呈します。

したがって、交差よりロープと異なり、各層素線のより角及び素線の長さは等しくありませんが、線接触となっているために耐疲労性が優れています。

なお、このより方には、6×Fi (25), 6×WS (36), 8×S (19) などが属しています。

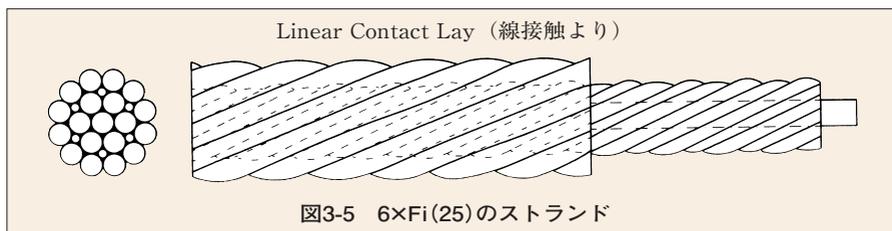


図3-5 6×Fi(25)のストランド

### (a) 基本形

平行よりの代表的なものとしては、次の4種類があります。

#### ① シール形 (Seale)

各層の素線数は  $1 + n + n$  のように表され、内外層の素線数が同数で、内層素線の凹みに外層素線が完全に収まっています。